

令和7年 二番茶情勢について

令和7年6月30日現在
J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況

6月の平均気温は、平年より高く推移しました。降水量は、6月上旬は平年より多かったものの中旬は少なくなり、日照時間は平年を上回りました。

(アメダス菊川牧之原)

時期		平均気温 (°C)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
		本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
6 月	上旬	19.9	+0.2	110.5	+58.3	48.9	▲7.3
	中旬	24.0	+3.2	81.0	▲23.7	66.2	+23.3

2 生産状況

- (1) 早場所・中場所は大方終了しました。ドリンク契約生産及び山間地・遅場所の煎茶は7月上旬頃、てん茶は7月中旬まで続く見込みです。
- (2) 増産要望により数量確保に動いたことから、一番茶摘採後～二番茶摘採までの日数は例年以上となりました。生産前半の反収は伸び悩んだものの、後半は増加しました。
- (3) 6月中旬からの気温上昇により全体的に硬葉化しました。また、炭疽病の発生や水赤みなどの欠点も散見され、荒茶品質は低下している状況です。
- (4) 県下荒茶生産量は、前年(6,500 t)を上回る見込みですが、地域・工場間での格差が見られます。

3 流通状況

- (1) 茶商の下物在庫が少なかったことから、二番茶の仕入れ要望は強く、価格変動の小さい取引が続いています。一番茶で取引実績のあった茶商を優先して販売する傾向が強く、二番茶を積極的に仕入れたい茶商が価格を上げて、思うように数量が集まらない状況が見受けられます。
- (2) 二番茶価格は1,300円程度での開始となりました。現在の取引価格は、1,300円～1,100円程度で前年を大幅に上回っています。
- (3) ㈱静岡茶市場にて試行中の入札コーナーへの出品点数は増加しており、需要が高まっているてん茶は5,000円～4,000円で落札されるなど、仕入れ要望の強さが際立っています。
- (4) 県下荒茶平均価格は、前年(612円)を大幅に上回る見込みです。前年は生産が継続できない価格であったため、本年の価格を継続できる環境づくりが必要です。

4 静岡茶市場及び鹿児島茶市場の取扱状況

(単位: kg・円・%)

項 目		令和7年(6/30現在)		令和6年最終実績		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡 茶市場	県内産	330,958	1,343	330,113	643	100.3	209.0
	県外産	295,109	1,236	266,694	634	110.7	194.9
鹿児島茶市場		1,328,758	1,391	2,309,382	680	57.5	204.5

* 令和7年鹿児島茶市場は、5/30からの積上げ数値。

㈱静岡茶市場情報 (6月30日現在)

県内産二番茶は、東部や清水など一部産地を除き、本日で終了となりました。最終盤まで引き合いが強く、足早な取引が続き、価格はほぼ横ばいの相場展開となっています。